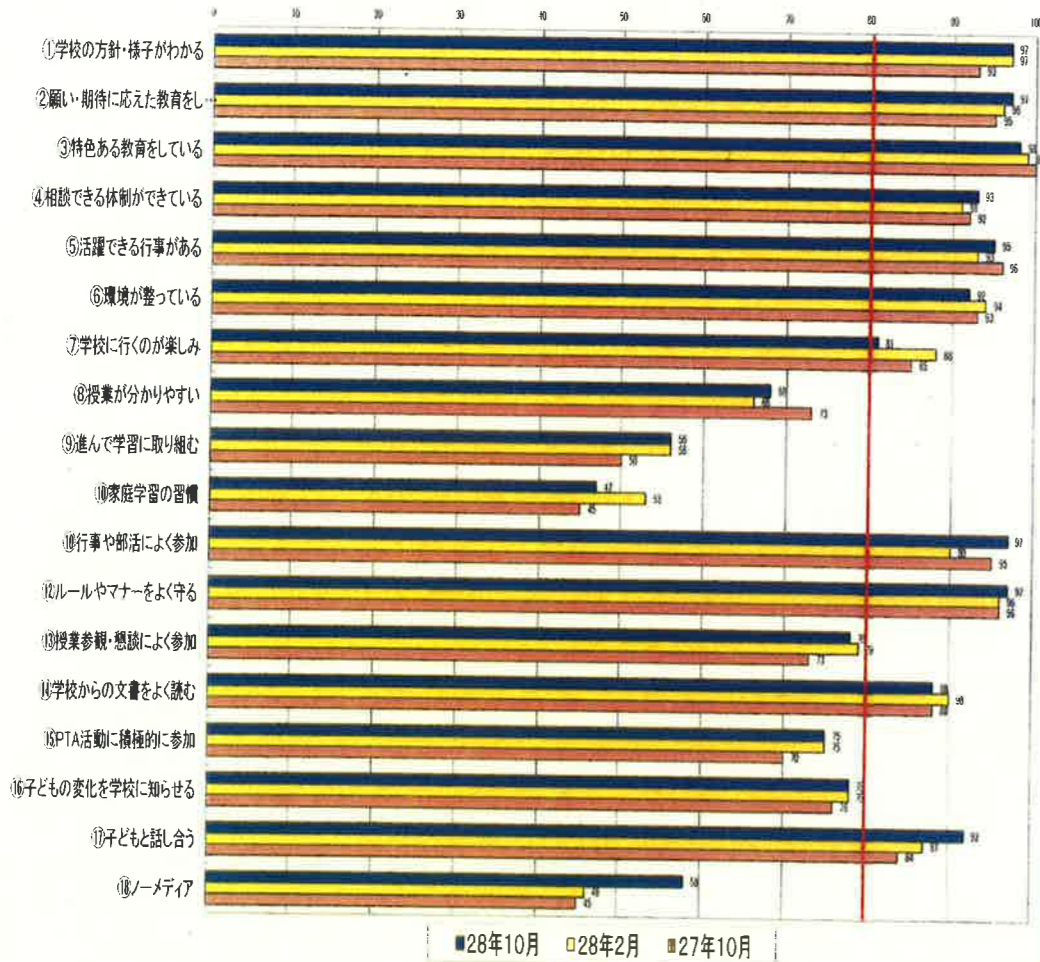


福部未来学園中だより

10月に実施しました学校教育に関するアンケートについて、集計結果をまとめました。グラフの数値は各項目の「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」(肯定的意見)をあわせたものです。ご協力ありがとうございました。この評価をいかして今後も福部中の教育を質の高いものにしていきたいと思ひます。

福部未来学園中学校 10月 学校評価アンケート(保護者)



○学校教育について(①～⑥)は、すべて9割を超えています。
 ○生徒について(⑦～⑱)は、⑪「行事や部活への参加」等は向上しましたが、⑧「分かりやすい授業」⑨「学習方法」⑩「家庭学習」の数値から「学習に関する不安」がうかがえます。引き続き授業改善、家庭学習の定着等、地道に取り組んでいく必要があります。
 ○保護者自身について(⑬～⑱)は、今まで課題となっていた⑬「ノーメディア等」の意識改善が見られます。
 ○「地域とともにある学校」として、保護者・地域の方にできるだけ多く足を運んでいただける工夫が必要だと考えています。

選択への責任

選挙運動期間に様々な物議を醸したドナルド・トランプ氏がアメリカ合衆国第45代大統領に就任することとなりました。「政治経験ない実業家、未知との遭遇世界不安、異端児に託した未来……等々」10日の各社新聞には、トランプ氏に対して芳しい評価は見当たりませんが、最終的にアメリカはトランプ氏を選択し、次期大統領として国の舵取りをまかせることになりました。「人生は、選択の連続である」と言ったのはシェークスピアですが、選択するとは現在と未来の自身の姿に責任を取ると決めることであり、その責任を持つかどうかは人物や物事の優劣を選り分けることとなります。アメリカが次期大統領として選択したトランプ氏。本人はもとより、支援者、そしてアメリカ合衆国自身が責任を果たしていくことができるかどうか、目が離せない状況です。ところで、先日ふらりと立ち寄った書店で、葉室麟氏の「無双の花(文藝春秋)」という書籍を購入しました。これまで知らなかった筑後柳川十三万石の領主、立花宗茂の一代記の物語でした。

立花宗茂は関が原の戦で、豊臣秀吉への忠節から石田三成の西軍に加担します。ご存知のとおり西軍は敗北しますが、加藤清正、黒田如水が家康に助命を嘆願し、命は助けられます。しかし領地は取上げ、部下と共に浪々の日々を送ることとなります。

宗茂は、時代は徳川の天下に決したことを悟り、家康に対して律儀をもって恭順の姿勢を貫きとおし、領地取上げから二十年後に旧領柳川の大名に奇跡の復活をとげることとなります。そして、二代秀忠、三代家光からは信頼を得て、特別にかわいがられる存在となり、領地、家名を残し一生を終えます。その時、その時の現実を素直に受け入れながら、未来志向で判断し、決断をくだして実行に移す。これが立花宗茂の人生の選択規準だったのでしょ。

もう一人、西軍に加担しながらも宗茂と同様に命を助けられ、高野山のふもとに親子で蟄居。最終的には家康との積年の関係や豊臣家への報恩から豊臣方について、領地も家族も部下も、そして自分の命も失う武将がいます。真田信繁(幸村)です。真田信繁は、誰もが一度は耳にしたことのある戦国武将の一人ですし、今年NHK大河ドラマ「真田丸」で真田ブームも到来しています。信繁は戦いの戦略にたけ、徳川の世になっても「日本一の兵(つわもの)」と称えられ、命を落としても武人としての名をあげました。信義に厚く、豊臣への恩義を貫き真田家を破滅に導きながらも、真田の名声を日本の歴史に留めました。これは信繁の選択が導いた結果です。

宗茂と信繁は同時代に生きた武将でしたが、各々の選択が、その後を真逆の境遇や歴史にしてみました。どちらの選択が正しくて、どちらが間違っていたかは結

論を見る事はないでしょう。しかし、共通することは、責任ある選択をしたからこそ宗茂は領地を残し、信繁は歴史に真田の名を残したといえます。

福部未来学園創設への選択。私たちや皆さんと一緒に設立の理念にもとづき、責任を果たしていくことが実と名を残していくことになるのだと実感をした書籍との出会いでした。

福部未来学園中学校長 木村 正人

共に成長

先日、晴天の中「鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会」が行われました。今回は記念すべき第30回大会に携われたことを大変光栄に感じています。

私は体育の教員です。10月の体育では、武道(柔道)の授業を行いました。「簡単な固め技や投げ技」など福部の生徒が比較的安全に取り組める内容でした。生徒は、「場所の確保!はじめ!」という言葉で、隣とぶつからないよう自分たちで危険を回避しながら練習をします。あまりにも生徒たちが活き活きと試合するので毎時間がとても楽しく、50分という授業時間をとても短く感じていました。一方、花マラソンに向けて走る力もつけさせたいと、授業始めに10分～15分間走をすることにしました。これまでだと「走る」と聞いただけで、「えー、やだ。」「だるい!」と弱音をすぐに吐いてしまう生徒が多かったのですが、今年はライバルと競争したり、黙々と前向きに走る生徒が大半でした。「前向きな姿勢」で生徒は強く育ってきていると感じました。

そして花マラソンの大会当日、一生懸命自分に挑戦する生徒の姿が多く見られました。マラソンが苦手な生徒も前向きに走っていたように思います。子どもたちの成長を目にし、胸が熱くなりました。「子どもたちが一生懸命挑戦しとる。僕も挑戦せないけん。」と福部未来学園文化祭の日の夜、家から福部まで往復約10キロを走ることになりました。4日遅れの「鳥取砂丘らっきょう花マラソン」です。すぐに息が上がり立ち止まりたくなくなりましたが、生徒の顔が浮かんできて「先生、止まったらいけん。ファイト!」「先生、いつも駅伝で最後までいけーって叫んでたじゃないですか!最後まで!」と脳裏で応援してくれるではありませんか。生徒たちの言葉と顔が、脳内でエンドレスリレーのように巡ります。そして、走り切ることができました。福部3年目にして、初めてみんなと一緒にらっきょう花マラソンを走ることができた気がして、とても嬉しく思いました。

ある保護者の方がおっしゃっていた「油谷先生、私は子どもから学ぶことばかりですよ」という言葉。その通りだと感じています。私も福部の子どもたちから大切なことをたくさん教えてもらっています。今年の「らっきょうの花」は格別に綺麗に感じられました。

福部未来学園中学校 体育担当 油谷 哲志

今後の予定

月	日	曜日	行事	月	日	曜日	行事
11	15	火	3年保育実習、テスト発表	11	28	月	
	16	水	市中合同文化祭(全校参加・合唱)		29	火	
	17	木			30	水	
	18	金	3年進路説明会		1	木	
	19	土	インドアソフトテニス大会		2	金	第2回模試
	20	日	福部町民スポーツ祭		3	土	
	21	月			4	日	
	22	火	3年学年末テスト		5	月	個別相談
	23	水	勤労感謝の日		6	火	個別相談
	24	木	3年学年末テスト 1・2年後期中間テスト		7	水	
25	金	小中合同授業研究会	8	木	P T A個別懇談		
26	土	保幼小中P T A合同研修会	9	金	P T A個別懇談		
27	日	第3回資源回収	10	土			